



# 国労東北自動車支部

## 第68回支部定期大会

仙台市

### 職場の改善、組織の強化・拡大を確認

1月29日(月)仙台地本会議室において、第68回国労東北自動車支部定期大会が開催されました。

軽井沢スキーツアーバス事故から2年、二度とこのような事故を起こすことのないようバス職場の労働条件改善をはじめ組織の強化・拡大を真剣に議論し、あらためて頑張る決意を固めました。

恒例により新田副委員長の司会で始まり議長を兼ねて議事が進行支部を代表して北山委員長が「夏季ダイヤにおいて大幅な減便により2億程度の減収と会社は言っ

## 2017年度支部役員

|        |           |
|--------|-----------|
| 執行委員長  | 兜森 秀昭(秋田) |
| 執行副委員長 | 新田 順一(盛岡) |
| 書記長    | 岩崎 宏(青森)  |
| 執行委員   | 佐藤 浩二(福島) |
| 一〃     | 北山 修司(仙台) |
| 会計監査   | 浅利 功(盛岡)  |
| 一〃     | 早坂 修悦(古川) |

**よろしくお願ひします!!**

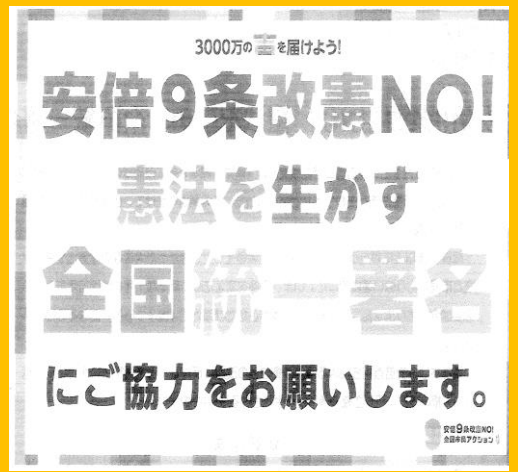
いるが魅力ある職場とはなっていない。職場改善のため国労の存在感を示し、すべての闘いを組織の強化・拡大に集約しよう」と挨拶。来賓には地本から原子書記長、千葉組織部長、全交運共済東日本本部橋本副本部長が参加し、原子書記長より働き改革をはじめとした政治状況と2018春闘情勢について話され「職場要求がないと大衆行動ありきで集中した運動ができない。一人一要求含め要求の根拠を明らかにし春闘と拡大行動を一体として取り組みを強化していこう」と訴えました。千葉組織部長は、昨年、業者の過失により自宅が全焼し現在再建中のなか「所属分会の取り組みにより自動車支部の

皆さんにもカンパを頂き感謝申し上げます。組織部として、自ら一人ひとりが動きを作り拡大行動につなげていくが重要。今後も様々な取り組みをお願いするのでご理解をお願いしたい」と提起し、支部としても取り組みを強化していくことを確認しました。その後、経過報告・2017年度運動方針について質疑応答後、満場一致で承認し、兜森委員長の団結ガンバロウで終了しました。

15時から全交運共済仙台事業所の伊賀所長を招き共済担当者会議、16時から2018年支部旗開きを開催し全日程を終了。中身の濃い一日となりました。今年も頑張ろう!!(K)

以下主な発言

- 契約社員の契約期間にばらつきがある。問題ではないか。
- 一ヶ月に4日しか休みがなく、毎日400〜500キロ走る。特に若い人が参っている。
- 要員不足でエルダーも買い上げしている状況。
- 異常時の運行指示書が空欄になっているのを渡された。日別計算書で勤務処理を確認したが超勤処理はされているが拘束時間オーバーがあり問題。
- 4月から特休が増えるようだが上司のパワハラもどきの発言があり問題。改善をしたい。



昨年、安倍首相は「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書き込む」とのべ、現在開会中の通常国会において議論が加速する状況にあります。

70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動です。日本が再び海外で「戦争する国」にしてはいけません。憲法の民主主義・基本的人権の尊重・平和主義が生かされる政治にしよう。(3月末地本必着)

発 責 兜森秀昭  
編 責  
教 宣 部  
NO,130  
2018.1.30

**国労加入  
で職場を  
変えよう**

第30回東日本自協定期委員会  
2月14日〜15日・14時〜  
松島町・ホテル大観荘